

この商品は napnap とベルメゾンが共同開発した商品です

ベビーの体型を考えて設計された
新生児から使える抱っこひも
取扱説明書 / 保証書

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 三ノ輪ビル7階

☎ **0120-900-720**

napnap フリーダイヤル 受付時間 : 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。

・メーカー品番 : NBC-009C ・管理番号 : DT-009

● ご使用の前に

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の際はこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。また、本製品を
他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

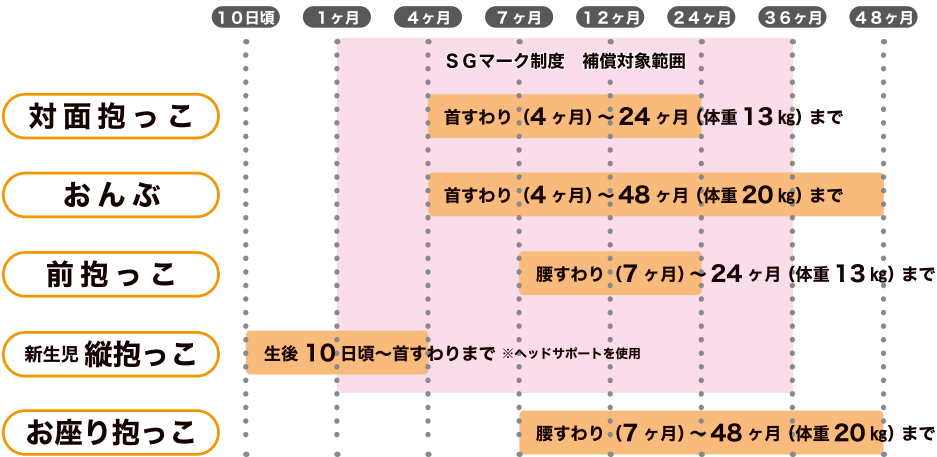
お問い合わせ先

株式会社ナップナップ
東京都荒川区東日暮里1-5-7三ノ輪ビル7階

☎ **0120-900-720**

受付時間：9:00～19:00（土・日・祝日を除く）

● ご使用時期の目安



SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

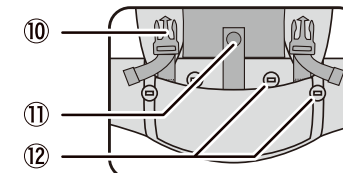
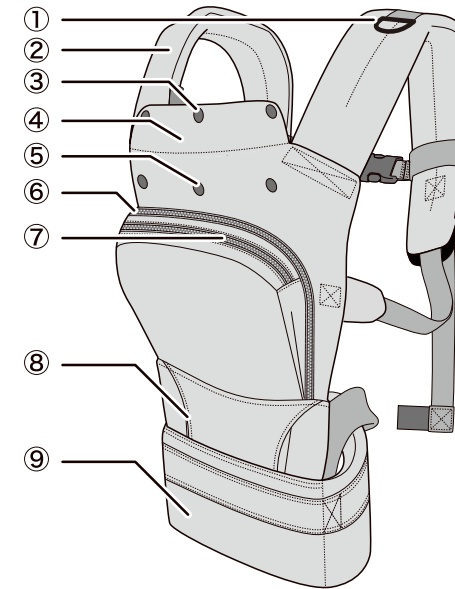
- ・対面抱っこ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで
ただし、ヘッドサポートをつけた場合には、対面抱っこは生後1ヶ月から
- ・おんぶ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～36ヶ月（体重15kg）まで
- ・前抱っこ：腰がすわった乳児期（7ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで



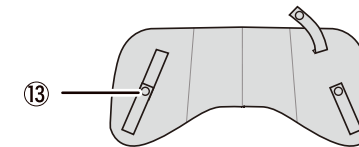
注意 【おんぶ】首すわり（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）までご使用いただけますが36ヶ月（体重15kg）～48ヶ月（体重20kg）まではSGマーク制度の対象外です。
【新生児対面抱っこ】ヘッドサポートつけた場合には、生後10日頃～首すわり（4ヶ月）までご使用いただけますが、生後10日頃～生後1ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。
【お座り抱っこ】SGマーク制度の対象外です

● 各部名称

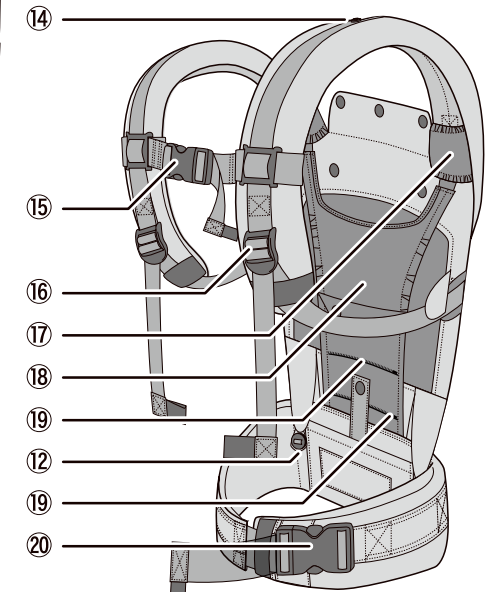
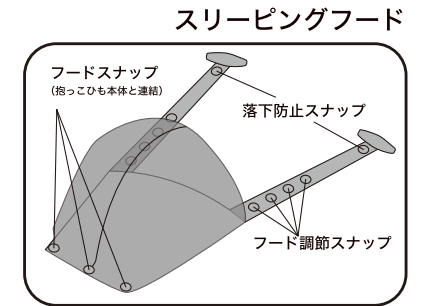
- 製品を取り出した後は部品がそろっているか、バックルやスナップ等に破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。



腰ベルトの内側ポケットには図のベルトバックル、ボタンが収納されています。



ヘッドサポート

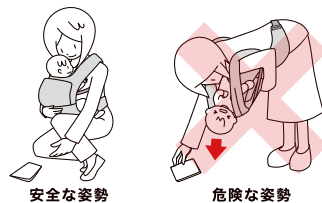


- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| ①Dカン | ⑧前抱っこポケット | ⑮調節バックル |
| ②肩ベルト | ⑨腰ベルト | ⑯肩アジャスター |
| ③前抱っこスナップ | ⑩お座りバックル | ⑰安全バックル |
| ④頭当て | ⑪収納ベルト | ⑱安全ベスト |
| ⑤フードスナップ | ⑫股幅調節ボタン(全4個) | ⑲ベスト調節ファスナー |
| ⑥メッシュ切り替えファスナー | ⑬固定ベルト | ⑳腰バックル |
| ⑦ポケット | ⑭フード調節スナップ | |

警告 誤った取り扱いをすると、死亡事故につながる恐れがある内容です。

■ 落下の危険性

● お子さまが開口部から落下する恐れがあるため、着脱の際や身体を傾ける場合はお子さまが落下しないよう手で支えてください。しゃがむ時は、お子さまの頭が下向きにならないよう、腰ではなく膝を曲げてください。



● 各部にあるバックルは確実にとめ、ベルト・ストラップの長さをお子さまや使用者に合わせて正しく調節してください。誤った使用方法によりお子さまが落下する恐れがあります。

● 本製品を使用中に、大きく前かがみになったり反ったりしないでください。お子さまが滑り落ちる恐れがあります。

● 装着の際、お子さまの足が抱っこひもの両側からそれぞれ出ているのを確認してください。抱っこひもの片側から両足が出た場合、お子さまが開口部より落下する恐れがあります。

● 本製品を装着後はバックルなどが確実にとめられているか、ベルト・ストラップに緩みがないか、服などをバックルが噛んでいないかを必ず確認してください。特に使用者の背面側にあるバックルはより注意して確認してください。

■ 窒息の危険性

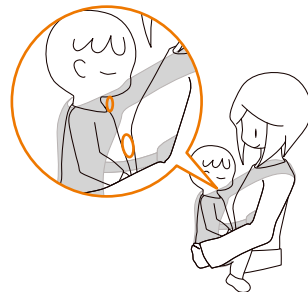
● 生後4ヶ月未満の乳児は、使用者の体に顔を強く押し当てられた際、本製品内で窒息するおそれがあります。お子さまのお腹と使用者の間に約こぶし一つ分の間隔（新生児の場合のひら一枚分の間隔）を取るように肩ベルトを調節してください。

● 本製品をご使用の場合はお子さまを保護者の体に強く縛りつけず、お子さまの頭部に動かせられる程度の余裕があるよう装着してください。

● お子さまの状態に注意しながら使用し、気道をふさぐことがないようにしてください。お子さまのあごと胸の間に指2本分の間隔が必要です。

● お子さまの顔が本製品に埋もれてしまう場合は、お子さまのお尻の下にタオルやクッションなどを敷き、顔が埋もれないようにしてください。

● 授乳後30分の間は本製品を使用しないでください。お子さまのおなかを圧迫することにより、嘔吐・窒息などのおそれがあります。



■ 使用時の危険性

● 実際にお子さまに使用する前に取扱説明書をよく読み、お子さまのいない状態で着脱の練習をしてからご使用ください。また、実際にお子さまに使用する際、慣れるまで周囲の人に手伝ってもらいながら使用してください。

● ヘッドサポートを使用し、生後10日頃からの乳児に装着する場合、早産児及び呼吸疾患等のあるお子さまには、生後10日頃を過ぎても使用を控えてください。

● 車両（自動車・オートバイ・自転車など）を運転中に使用しないでください。

● 取り扱い説明書に記載されていないポジションで使用しないでください。

● 取り扱い説明書に記載されている以外の目的で使用しないでください。破損・故障の原因になります。

● 有機溶剤・酸・アルカリ・アルコール・薬品・熱湯などを製品にかけないでください。変形・変質し、事故につながるおそれがあります。

● 本製品を高温の場所や火の近く、直射日光のあたる場所、屋外等に放置・保管しないでください。バックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損傷が生じる恐れがある内容です。

■ 着脱の注意

● 本製品を着脱する際は、ベッドやソファなどの安全な場所で、可能な限り低い姿勢で行ってください。また、周囲に人がいる場合は可能な限り手伝ってもらいながら装着してください。おんぶの際は特に注意が必要です。

● 首のすわらない乳児に使用する場合は、必ずヘッドサポートをご使用ください。

● 製品にほつれやキズ・破れがあった場合、またはバックルやフックが破損した場合は速やかに使用を中止してください。

● 抱っこで使用する場合は、お子さまの頭部により、使用者の前方や足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も十分注意してください。

● ヘッドサポートを使用し、生後10日頃からの乳児に装着する場合は使用者とお子さまが向かい合うよう必ず縦抱っこでご利用ください。おんぶは出来ません。

● 使用中の摩擦・汗などにより、衣服に色移る可能性があります。

● 製品のストラップ部分等をほどいたり切り落とさないでください。

● 湿った状態、水につけた状態で長時間放置しないでください。

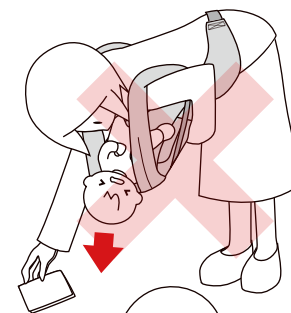
■使用時の注意

- バックルの開口部にお子さまの手や指が入らないよう注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品をご使用にならない時は開口部を作らないよう、必ずバックルをはめ込んで保管してください。
- 連続して使用する際はお子さま、使用者の体調の変化や装着状況を確認しながら使用してください。また、連続して2時間以上の使用はしないでください。
- 使用者の体調がすぐれない、体に痛みを感じている、飲酒および薬類を服用している場合などは使用を控えてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 使用者が痛みや不快感を覚えた場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 家事での使用は屈んだ時などに転倒するおそれがあります。
- 料理中に使用するとやけど等のおそれがあります。
- お子さまが予期せぬ動きをしたり、本製品の中で動くことにより、使用者がバランスをくずす恐れがあります。使用中はお子さまの位置や姿勢の調整ができるよう常に両手が使えるようにしてください。
- 抱っこひもを着用したまま走ったり飛び跳ねたり寝転んだりしないでください。
- 使用中の喫煙や飲食には十分注意してください。やけどの恐れがあります。
- 電車など込み合っている状況で使用する場合はお子さまの状態をしっかりと確認してください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- 抱っこひもを着用したままスポーツなどをしないでください。
- 使用中は周りに注意し、お子さまがぶつからないようにしてください。

■使用時の注意

1. しゃがむ時の注意

- 落し物を拾う時や、しゃがみこんだ時などにお子さまが落下するおそれがあります。お子さまが落下しないように手で支え、しゃがむときはひざを折るようにはしてください。



2. お子さまをおろす時の注意

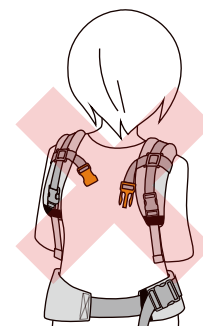
- お子さまをおろす時、腰ベルトを先に外してしまうとお子さまが落下するおそれがあります。お子さまの安全を確保できる場所で調節ベルトを外し、肩ベルトを外してお子さまをおろした後、腰ベルトを外してください。



3. とめ忘れ注意

- 各種バックルはカチッと音がするまでしっかりととめてご使用ください。

特に対面抱っこの場合、背中の調節ベルトを目で確認できないため、バックルをとめた後、左右に引っ張って外れないか確認してください。



4. ベルトの調節

- 肩ベルト・腰ベルト・調節ベルトなどが緩んでいると思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用者、お子さまが苦しくない程度にしっかりとベルトを締め、安全にご使用ください。



安全にお使いいただくために

■ 使用時の注意

5. おんぶは慎重に

- お子さまをおんぶする際は必ず安全な場所で行ってください。

説明書に記載されていない方法でおんぶをする際は十分にご注意ください。

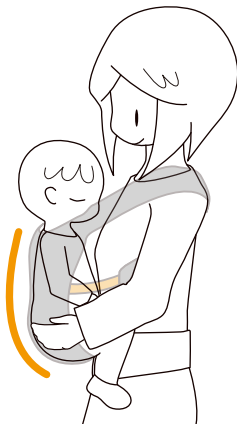
お子さまが落下して事故につながるおそれがあります。



■ しっかり調節

1. だっこの姿勢

- ①抱っこひもをご使用の際は腰ベルトをしっかりと締めてください。
- ②お子さまの位置は使用者のあごがお子さまの額に届く高さが理想的です。
- ③お子さまの背中はやかな曲線となるよう、肩ベルトを調節してください。緩すぎて使用者とお子さまの間に隙間が空きすぎたり、締めすぎてお子さまの背中が反ったりしないよう注意してください。



● SG マーク制度

SG マークが表示された製品は安心してお使いいただけます。

SG マーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。



- ・対面抱っこ：首がすわった乳児期（4 ヶ月）～24 ヶ月（体重 13 kg）まで
- ・おんぶ：首がすわった乳児期（4 ヶ月）～36 ヶ月（体重 15 kg）まで
ただし、新生児パッド（別売）をつけた場合には縦だっこは生後 1 ヶ月から
- ・前抱っこ：腰がすわった乳児期（7 ヶ月）～24 ヶ月（体重 13 kg）まで

SG マークが表示された製品は安心してお使いになれるが、消費者の皆様が正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生した場合は「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

※但し購入後 3 年以内です。

賠償についての注意

認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払することになります。

賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会、または協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会
〒110-0012
東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL：03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

事故の原因となった SG マーク表示の製品
イ) 製品の名前、SG マーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月

事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況

被害状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度

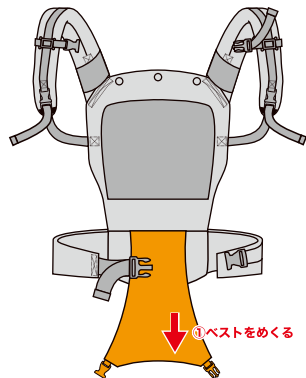
●機能紹介

落下防止機能

⚠警告：本製品をご使用の際はお子さまの落下を防ぐため必ず【安全ベスト】をご利用ください。

●抱っこひもを広げる

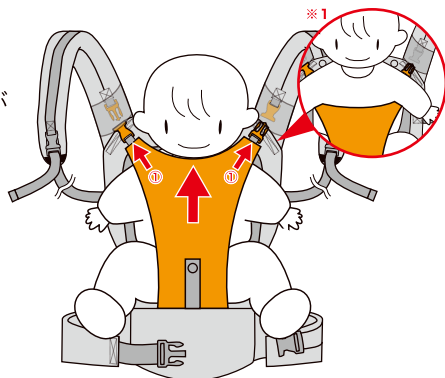
- ①【安全ベスト】のバックルを外し、ベッドやソファなどの安全な場所に抱っこひもを広げる。



●安全ベストを装着する

- ① お子さまをのせて【安全ベスト】をかぶせ、バックルをとめる。

※1. お子さまの腕は成長に合わせて【安全ベスト】のバックルの下から、または上から通す。

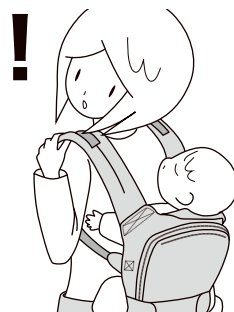


●お願い

【安全ベスト】は様々なパターンの事故を未然に防ぎお子さまの安全を守ります。抱っこひもをご使用の際は必ず取り付け、正しくお使いください。

スリーピングフード

⚠警告：スリーピングフードのひもがお子さまの首に巻きつかないように必ず落下防止スナップをとめて本体に固定してください。



お子さまが寝てしまった場合、【スリーピングフード】を使って”首かっくん”を防止できます。

お子さまを抱っこする前に【スリーピングフード】を肩ベルト上にある【Dカン】を通し、フードの【落下防止スナップ】を本体側の【フード調節スナップ】へとめておけば簡単にフードを取り付けられます。

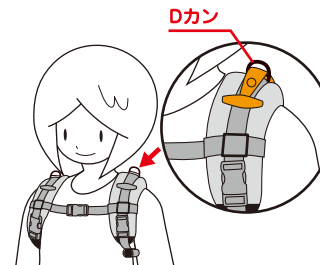
●抱っこの際は

- ① 左右の落下防止スナップを外し、フードを引っ張り上げてお子さまにかぶせ、フードの【フード調節スナップ】を本体側の【フード調節スナップ】へとめる。



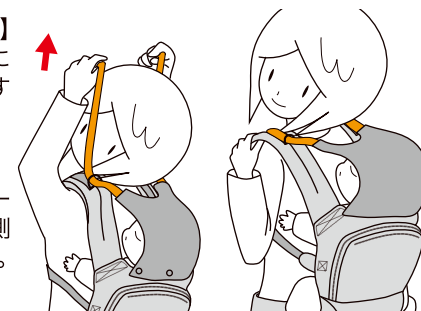
●おんぶの際は

- ① 肩ベルト上にある【Dカン】にフードの先端を通し本体側の【フード調節スナップ】へ【落下防止スナップ】をとめる



- ② フード使用の際は【落下防止スナップ】を外し、フードのストラップを前方に引っ張るとフードをお子さまに装着することが出来る。

- ③ 適切な長さまで引っ張り上げたらフード側の【フード調節スナップ】を本体側の【フード調節スナップ】へとめて完成。



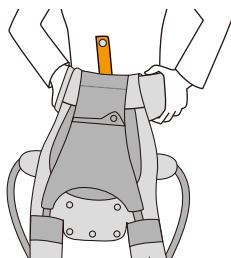
● 機能紹介

コンパクト収納

公園などでお子さまを一時的におろした時、簡単にコンパクトにすることができます。

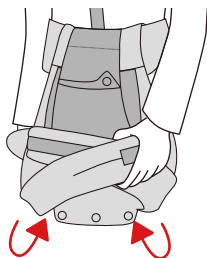
1. コンパクト収納の準備

- ① お子さまをおろしたら、腰ベルト内部の【収納ベルト】を引っ張りだす。



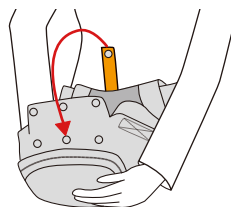
2. 抱っこひもをまとめる

- ① 肩ベルトを二つ折りにして抱っこひもを下からぐるっと巻き上げる。

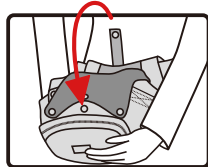


3. スナップボタンをとめる

- ① 巻き上げたら垂れているベルトなどを内側に折り込み、【収納ベルト】のスナップを【フードスナップ】の中央にとめる。

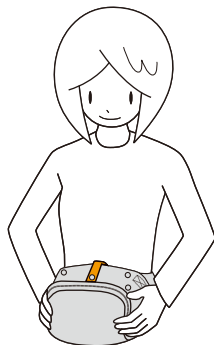


スリーピングフードをご使用中の場合は右図のように中央のスナップボタンのみを外し、【収納ベルト】のスナップをとめてください。



4. コンパクト収納完成

- ① 形を整えて完成。背中側にぐるっと回せばさらにすっきり。

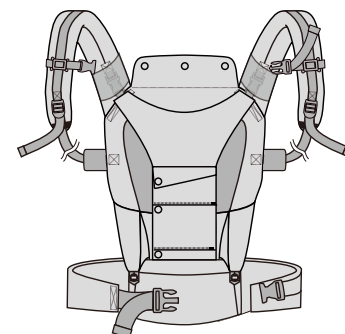


折りたたみ方

持ち運びの際や保管の際はくるくると丸めコンパクトに収納。

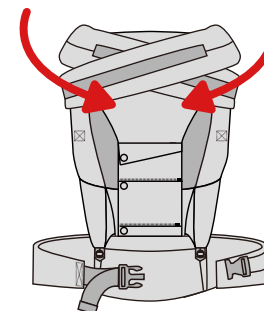
1. 抱っこひもを広げる

- ① 抱っこひもをひろげる。



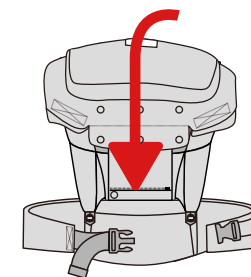
2. ベルトを折りたたむ

- ① 肩ベルトを二つに折り中央に折り込む。
- ② ベルトなどを内側にしまいこむ。



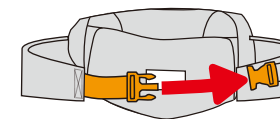
3. くるくる丸める

- ① ベルトなどを巻き込みながら腰ベルトの方へくるくると丸めていく。



4. 腰バックルをとめる

- ① 腰ベルトの上まで来たなら腰ベルトで包むように覆い、腰バックルをとめ、めいっぱい締めれば完成。

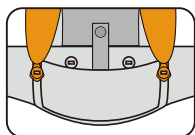


● 対面抱っこ

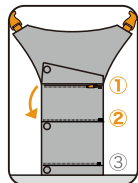
使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）

1. 対面抱っこの準備

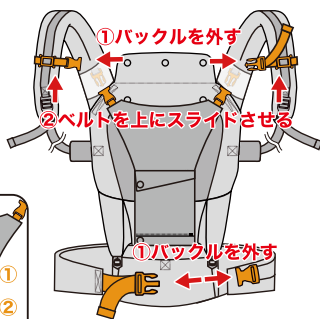
- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを上にはずらす。
- ③ 【安全ベスト】のバックルを外す。



※股幅調節ボタンは外側のボタンにとめる



※安全ベストは①と②のファスナーを合わせて閉じる

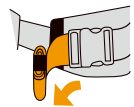


2. 腰ベルトを巻く

- ① 腰に腰ベルトを巻き、腰バックルをゴムの下を通しとめる。



ゴムの下をくぐらせる

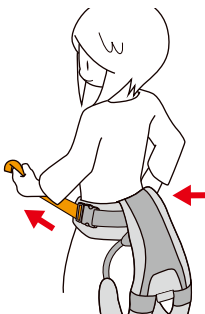


バックルをため紐をゴムの上から出す。



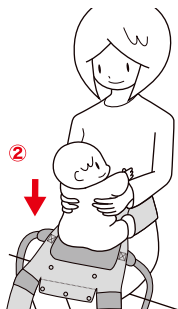
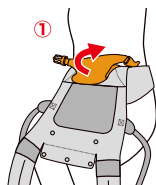
3. 腰ベルトを調節する

- ① 【腰バックル】が体の横に来るように【腰ベルト】を回す。
- ② 右手で【腰ベルト】を支えながら左手で紐を持ち、前方に引っ張って締める。
- ③ 余った紐をゴムでまとめ、抱っこひもが体の前に来るよう腰ベルトを回す。



4. お子さまを抱っこひもに乗せる

- ① お子さまをのせる前に【安全ベスト】を腰ベルトの内側に軽く挟み込んでおく。
- ② お子さまを抱き上げ抱っこひもに乗せる。



⚠ 警告：お子さまをのせるときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

5. 肩ベルトをかける

- ① お子さまを抱っこひもで包むように持ち上げ、手で支えながら左右の肩ベルトを肩にかける。

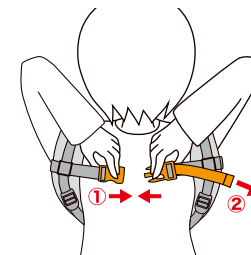
※【安全ベスト】をこの後取り付ける為、肩ベルトは緩めに調節しておいてください。

※お子さまが落下しないよう十分注意してください。



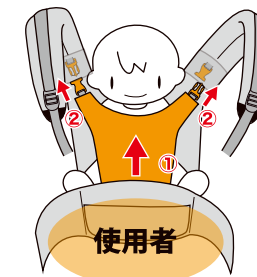
6. 調節バックルをとめる

- ① 首の後ろで【調節バックル】をとめる。
- ② 調節ベルトを苦しくない程度に締める。



7. 安全ベストを装着する

- ① 【4-①】で腰ベルトに挟んでいた【安全ベスト】を引っ張り上げる。
- ② 肩ベルトの根元についている【安全バックル】にとめる。



8. 肩ベルトを調節する

- ① お子さまのお尻を片手で持ち上げながら左右の肩ベルトを調節して完成！
- ② お子さまのおでこに使用者のあごが届くぐらいの高さが理想的です。

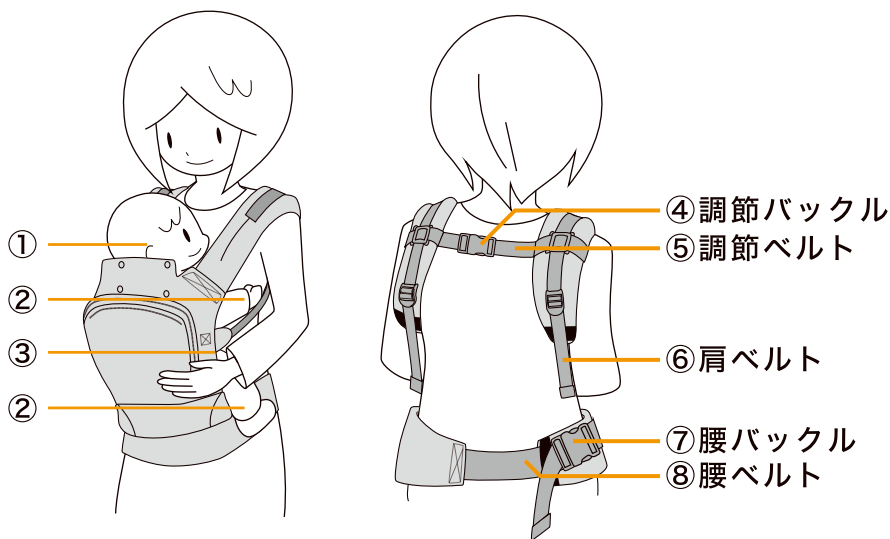


● 対面抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
- ② お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらから出す。
- ③ 安全ベストがとまっている
- ④ 背中中の調節バックルが確実にとまっている
- ⑤ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑧ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

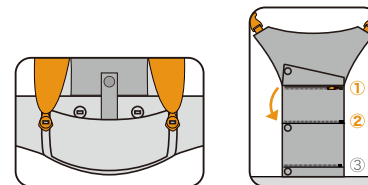
● おんぶ

使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）
（36ヶ月から48ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。）

首が完全に座るまでおんぶはしないでください。

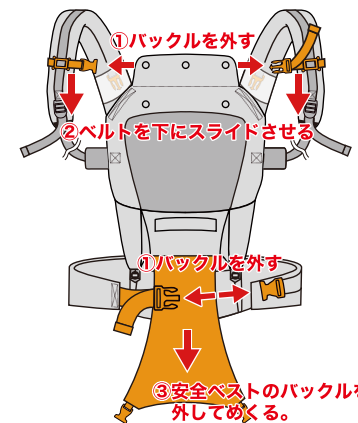
1. おんぶの準備

- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを肩ベルト先端へ向けずらす。
- ③ 【安全ベスト】のバックルを外し、めくる。



※股幅調節ボタンは外側のボタンにとめる

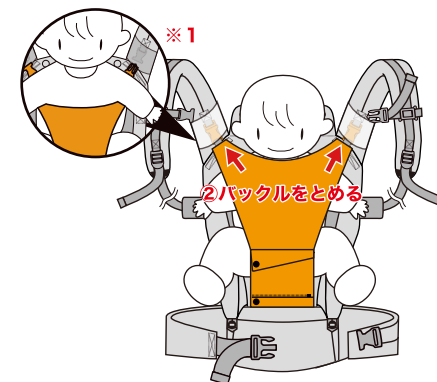
※安全ベストは①と②のファスナーを合わせて閉じる



2. ベストを装着する

- ① ベッドやソファなど安全な場所に抱っこひもを敷き、お子さまをその上に寝かせ、【安全ベスト】をかぶせる。
- ② 【安全バックル】をとめ、お子さまがしっかり収まっているか確認する。

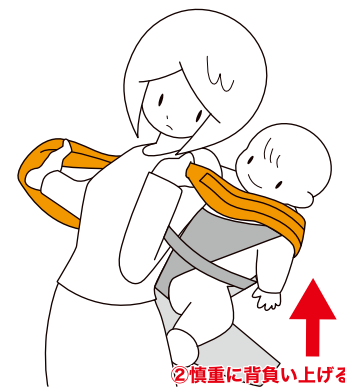
※1. お子さまの成長に合わせて、【安全ベスト】のバックルを腕の上から、または腕の下からとめてください。



3. 肩ベルトをかけて背負う

- ① 肩ベルトに手をかけ、お子さまを背中で迎えに行くように体を反らせながら、ゆっくりと肩ベルトを持ち上げる。
- ② お子さまが落下しないよう慎重に背負い上げる。

⚠ 警告：お子さまを背負うときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

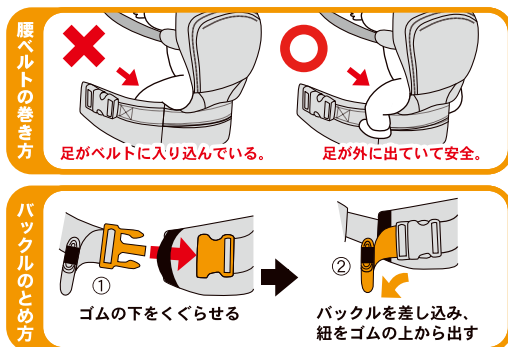


② 慎重に背負い上げる

● おんぶ

4. 調節バックルをとめ、腰バックルをとめる

- ① 少し前にかがんでお子さまの体重を背中
で受けながら調節バックルをとめる。
- ② お子さまの足が内側に入らないように腰
に腰ベルトを巻き、腰バックルをとめる。



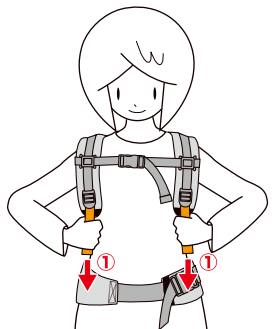
5. 調節ベルト、腰ベルトを締める

- ① 調節ベルト、腰ベルトを苦しくない程度
にしっかりと締め、余ったベルトをゴム
でまとめる。



6. 肩ベルトを調節する

- ① 左右の肩ベルトをお子さま、使用者共に
苦しくない程度にしっかりと締める。
※前方向にベルトを引っ張ると軽い力で締め
られます。
- ② お子さまの位置を整え、鏡などで様子を見て
問題がなければ完成。

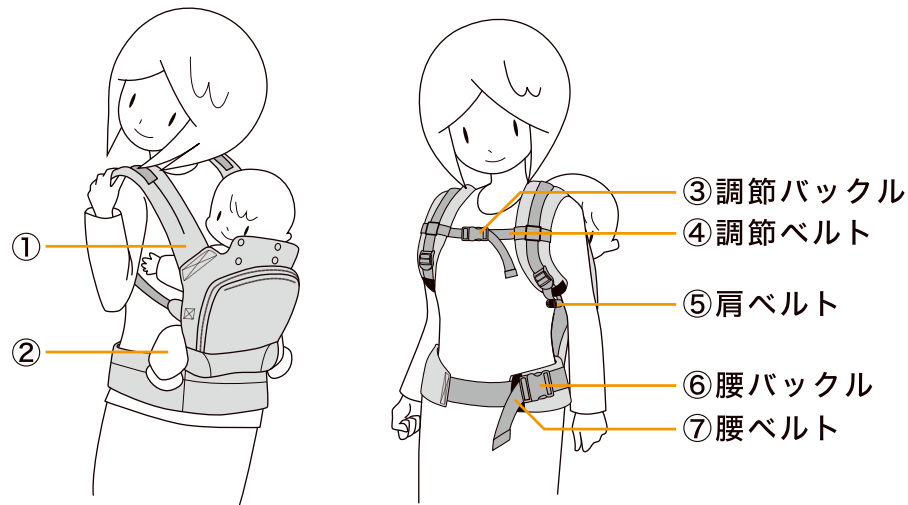


● おんぶ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

- ① 安全ベストがとまっている
- ② お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらかから出す。
- ③ 調節バックルが確実にとまっている
- ④ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑤ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑦ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- 使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。
特に授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。
- 使用者からお子さまの顔が見えないので、約30分ごとにお子さまの様子を
確認してください。
- 正しく装着できていない場合はもう一度取り付け、調節を行ってください。

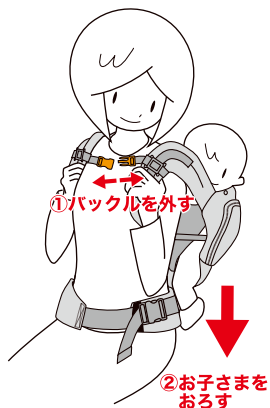
⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶのおろし方

1. お子さまを抱っこひもからおろす

- ① ベッドやソファなど、安全な場所に腰掛け、調節バックルを外し肩ベルトをゆっくり外す。
- ② ゆっくりとベッドやソファなどに寝かすようにお子さまをおろす。

⚠ **警告**：お子さまを抱っこひもからおろすときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。



2. 腰ベルトを外す

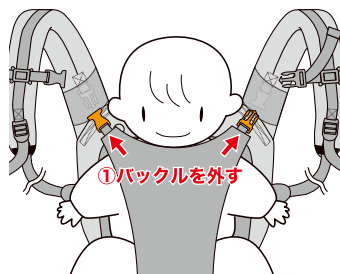
- ① お子さまの安全を確認し、腰ベルトを外す。



3. 安全ベストを外す

- ① 【安全ベスト】のバックルを外し、お子さまを抱き上げて抱っこひもからおろす。

⚠ **警告**：抱っこひもをお子さまの体の下に敷いたままにしないでください。寝返りなどでバックルや紐が絡み、思わぬ事故につながる恐れがあります。

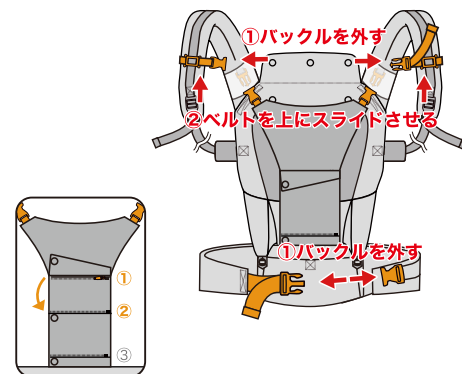


● 前抱っこ

使用時期目安：一人座りが出来てから（7ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）

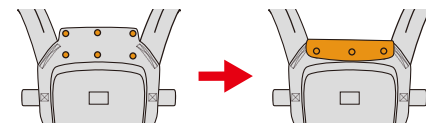
1. 前抱っこの準備

- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを上へスライドさせる。
- ③ 【安全ベスト】のバックルを外す。

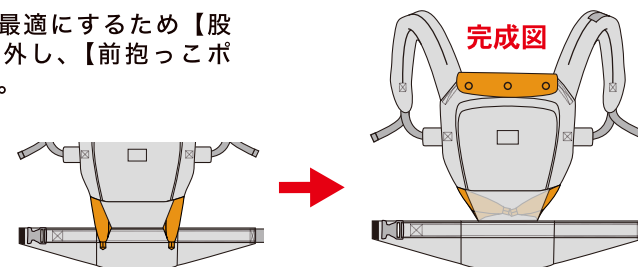


※安全ベストは①と②のファスナーを合わせて閉じる

- ④ 【前だっこスナップ】と【フードスナップ】を上下で組み合わせてとめ、【頭当て】を折り曲げる。



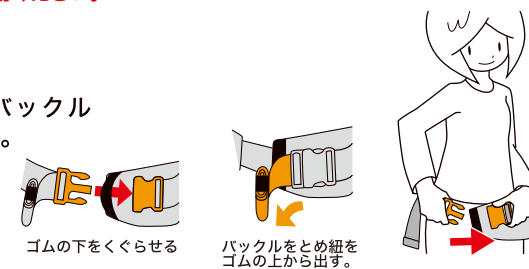
- ⑤ 股幅を前抱っこに最適にするため【股幅調節ボタン】を外し、【前抱っこポケット】に入れる。



⚠ **警告**：頭当てを折り曲げた状態でもお子さまの顔が抱っこひもに埋もれてしまう場合は前抱っこを中止し、顔がしっかりと抱っこひもから出るようになってからご使用ください。

2. 腰ベルトを巻く

- ① 腰に腰ベルトを巻き、腰バックルをゴムの下を通しとめる。



ゴムの下をくぐらせる

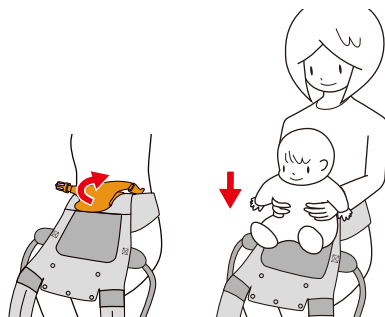
バックルをとめ紐をゴムの上から出す。

● 前抱っこ

3. お子さまを抱っこひもに乗せる

① お子さまをのせる前に【安全ベスト】を腰ベルトの内側に軽く挟み込んでおく。

② お子さまを抱き上げ抱っこひもに乗せる。



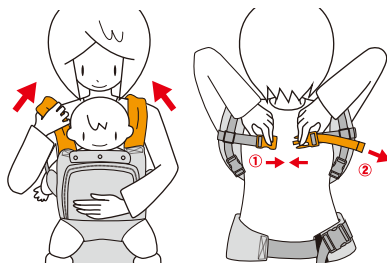
⚠ 警告：お子さまを背負うときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

4. 肩ベルトをかける

① お子さまを抱っこひもで包むように持ち上げ手で支えながら左右の肩ベルトを肩にかける。

② 首の後ろで調節バックルをとめる。

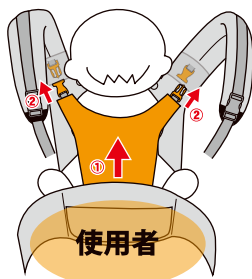
③ 調節ベルトを苦しくない程度にしめる。



5. 安全ベストを装着する

① 【3-①】で腰ベルトに挟んでいた【安全ベスト】を引っ張り上げる。

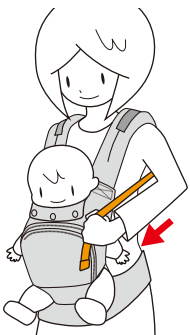
② 肩ベルトの根元についている【安全バックル】にとめる。



6. 肩ベルトを調節する

① 左右の肩ベルトをお子さま、使用者共に苦しくない程度にしっかりと締める。
※前方向にベルトを引っ張ると軽い力で締められます。

② お子さまの位置を整え問題がなければ完成。

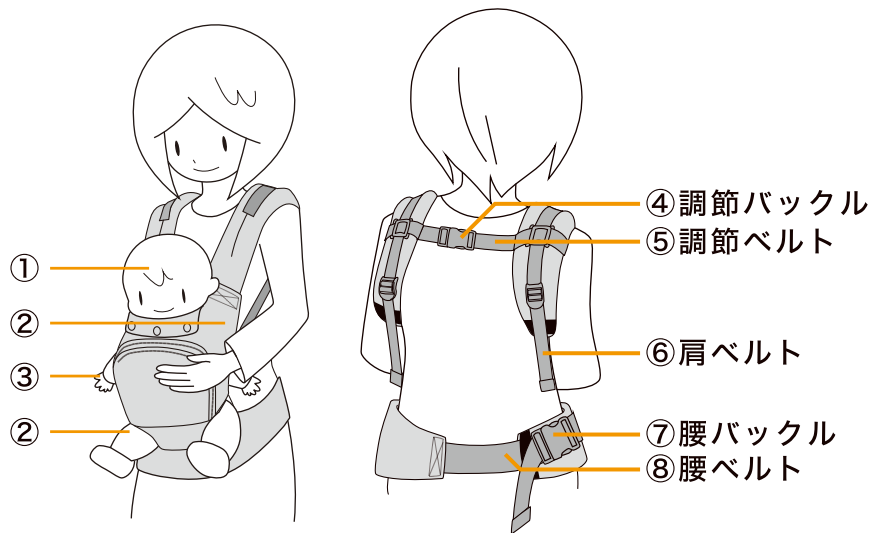


● 前抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
お子さまの顔が抱っこひもに埋もれていない
- ② 安全バックルが確実にとまっている
- ③ お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらから出す。
- ④ 背中の調節バックルが確実にとまっている
- ⑤ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑧ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

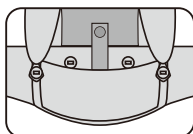
⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● お座り抱っこ

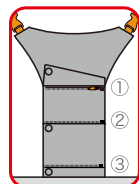
使用時期目安：一人座り（生後7ヶ月頃）が出来てから
お座り抱っこはSGマーク制度の対象外です

1. お座り抱っこの準備

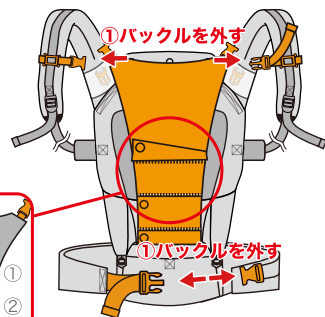
- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 【安全ベスト】のバックルを外す。
- ③ 【安全ベスト】のファスナーを外す。



※股幅調節ボタンはどのポジションでもOK



※安全ベストはファスナーをあけ伸ばした状態にする

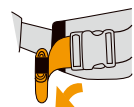


2. 腰ベルトを巻く

- ① 腰に腰ベルトを巻き、腰バックルをゴムの下を通しとめる。



ゴムの下をくぐらせる



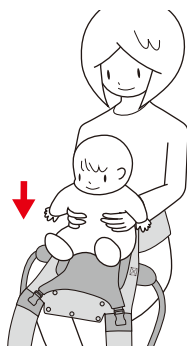
バックルをとめ紐をゴムの上から出す。



3. お子さまを乗せる

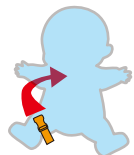
- ① 足の上に抱っこひもを広げお子さまを乗せる。

⚠ 警告：お子さまをのせるときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。

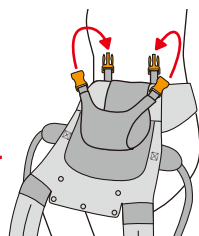


4. バックルをとめる

- ① お子さまを手で支えながら【安全ベスト】のバックルをお子さまのわきの下を通し、腰ベルト内側にある【お座りバックル】へとめる



バックルは脇の下を通す



5. バックルの長さを調節する

- ① 【お座りバックル】の長さを調節し、お子さまの様子に問題がなければ完成。

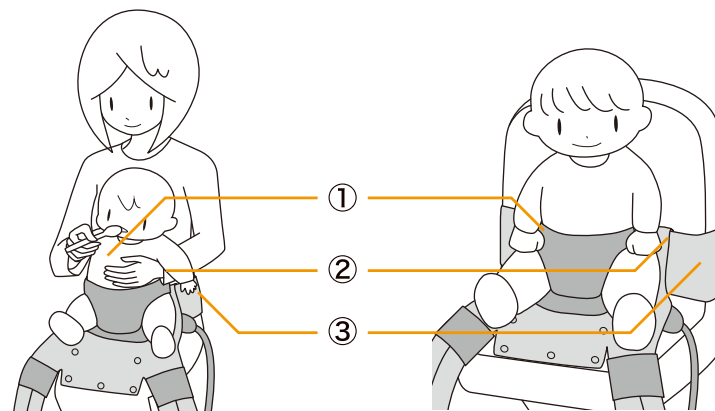


● 前抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① 安全ベストがお座りバックルにしっかりとまっている
- ② ベストがフィットするように調節されている
- ③ 使用者や対象物（椅子など）に抱っこひもが固定されている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

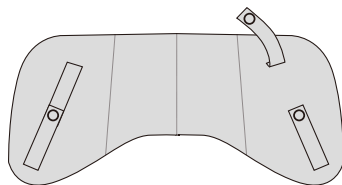
⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● 新生児縦抱っこ

使用時期目安：生後10日頃～首がすわる4ヶ月（体重約7kg）
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）
生後10日頃～1ヶ月まではSGマーク制度の対象外です

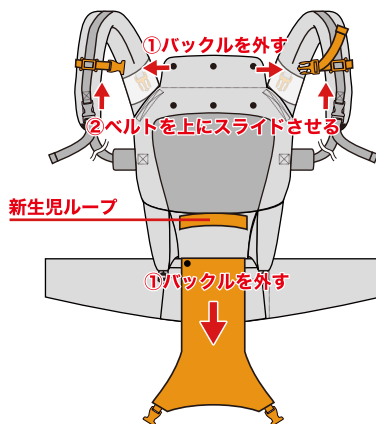
1. ヘッドサポートの準備

- ① 付属の【ヘッドサポート】を用意する。



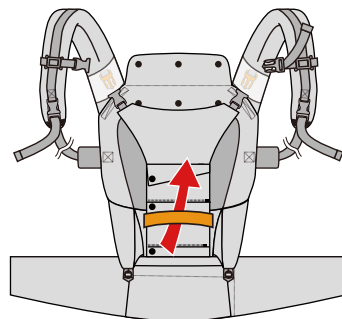
2. 新生児縦抱っこの準備

- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを上にはずらす。
- ③ 【安全ベスト】のバックルを外し、めくった場所にある【新生児ループ】を確認する。



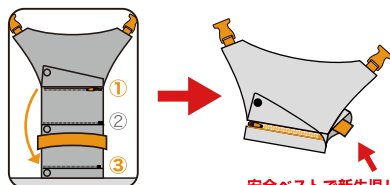
3. 腰ベルトを調節する

- ① 【安全ベスト】を【新生児ループ】の下をくぐらせる。



4. 安全ベストのファスナーをとめる

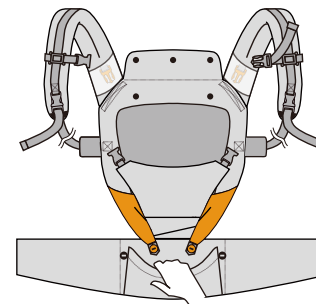
- ① 【新生児ループ】を【安全ベスト】で包み込むように①と③のファスナーを合わせてとめる。



※安全ベストは新生児ループを通してから①と③のファスナーを合わせて閉じる
安全ベストで新生児ループを包み込むようにファスナーをとめる

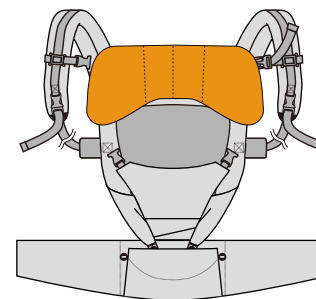
5. 股幅調節ボタンを付け替える

- ① 【股幅調節ボタン】を腰ベルト内側のポケット内部にあるボタンにとめる。



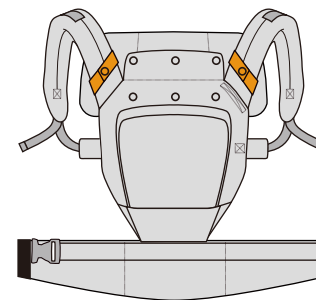
6. ヘッドサポートを取り付ける

- ① 敷いた抱っこひもの上に【ヘッドサポート】を乗せる。



7. スナップをとめる

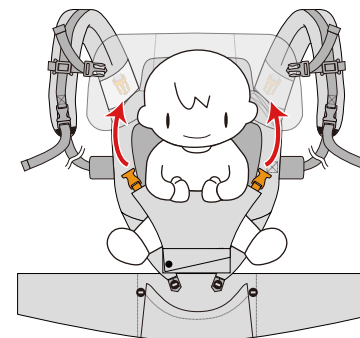
- ① 抱っこひもを裏返し【ヘッドサポート】についている【固定ベルト】を抱っこひも本体の肩ベルトを包み込むようにしてスナップをとめる。



8. お子さまを乗せる

- ① お子さまを抱っこひもに寝かせ【安全ベスト】を上からかぶせて【安全バックル】へとめる。

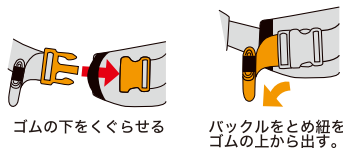
※安全バックルはヘッドサポートに隠れてとめにくいので、しっかりとまったかどうか引っ張って確認してください。



● 新生児縦抱っこ

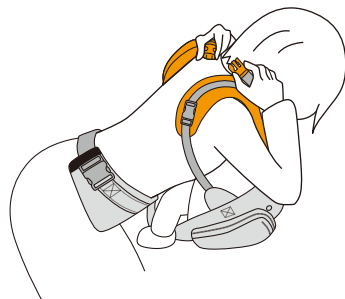
9. 腰ベルトを巻く

- ① お子さまを寝かせた状態で先に腰ベルトを腰に巻く。バックルをとめる際はゴムの下をくぐらせてからとめる。
- ② 腰ベルトをしっかりと締める。



10. お子さまを抱き上げる

- ① お子さまに覆いかぶさるように近づき、肩ベルトを肩に通す。
- ② 調節バックルをとめ、締める。
- ③ お子さまを抱っこひもごと手で支えながら抱き上げる。



11. ベルトを調節する

- ① 肩ベルトの長さを調節する。お子さまが苦しくならない程度にしっかりと締める。お子さまと使用者の間に手が入るぐらいのスペースを空けておく。
- ② 各部のベルトの締め具合やお子さまの位置を確認し問題がなければ完成。



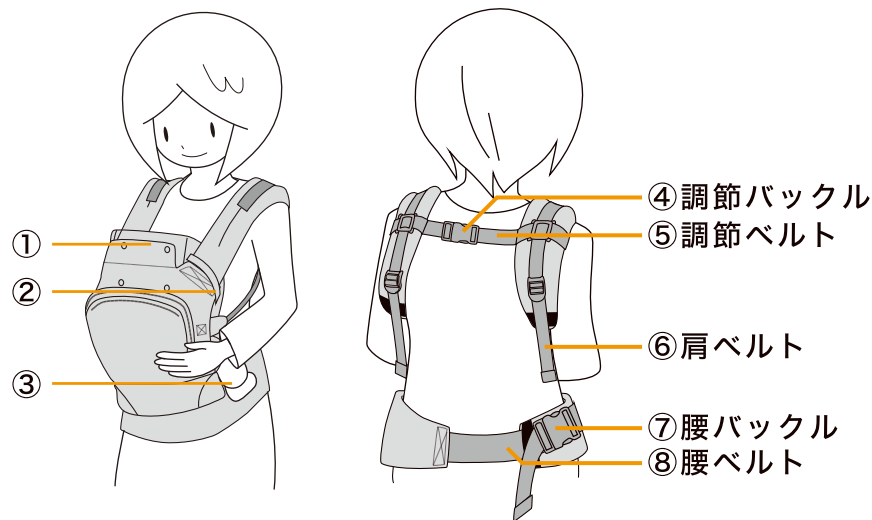
⚠ 警告：首すわり前のお子さまを抱っこする際はお子さまの顔が埋もれていないかなどを定期的を確認してください。窒息の恐れがあります。

● 新生児縦抱っこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために装着後の状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
お子さまの顔がしっかりと出て気道が確保されている
- ② ヘッドサポートと抱っこひも本体が固定されている
- ③ お子さまの足が無理なく適切な状態になっている
- ④ 背中の調節バックルが確実にとまっている
- ⑤ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑧ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● お手入れについて

日常のお手入れ

- 汚れなどは湿らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で吊り干ししてください。

洗濯についてのご注意

- 洗濯の際はまとめゴムを外しバックルをとめ洗濯ネットに入れて30℃以下のぬるま湯か水で洗濯(弱水流)してください。 ※まとめゴムをとめたまま洗濯するとゴムが伸びます。
- 蛍光剤入りの洗剤を使用すると、色移りすることがありますので使用しないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別々に洗濯してください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。バックルや内部のウレタンなどの破損につながります。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 抱っこひもに汗や汚れなどがしみ込んだ状態のまま使用を続けた場合、生地の変色や色あせにつながるおそれがあります。適度に洗濯などを行ってください。
- 濡れた状態で使用した場合、衣類や肌に色移りすることがあります。



保守・点検

- ご使用の際には、製品のほつれ、きず、破れ、バックルなど部品の破損がないか確認してください。

⚠ 注意

上記を一か所でも見つけた時は、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると故障や事故につながるおそれがあります。

保証書

商品名	ロット番号		
お買い上げ年月日	年	月	日
保障期間	お買い上げ日より1年間(但し保証基準による)		
お客様情報	ご住所 〒 お名前	TEL	
販売店	ご住所 〒 お名前	TEL	

保証規定

- ① 一度ご使用になった製品は原則としてお取替えできません。
- ② 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態にて、万一故障した場合は無償修理をいたします。初期不良以外の場合は送料をご負担いただきます。
- ③ 保障期間中でも次のような場合には保証の対象外になります。
 - プラスチック部品の自然劣化による変色
 - 縫製品の傷や破れ、変色
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 本書にお買い上げ日、お客様のお名前、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合
 - 修理の場合に要する運賃などの諸経費
 - 使用済みの本製品をご家族やご友人、知人などから譲り受けた場合
- ④ 製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。
- ⑤ 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
- ⑥ 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。

- お買い上げ後、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名をただちにご記入ください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社お客様サポートセンターに直接お問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 ミノ輪ビル7階
TEL:0120-900-720 napnap フリーダイヤル 受付時間:9:00~18:00(土・日・祝日を除く)